



枚方市議会議員

ばんしょう 映仁

てるひと



Vol.7
2020.9

市政報告

発行：番匠 映仁 枚方市出口 3-2-25-807
TEL：080-2523-8769
bansho.t@ban-teru.com

朝夕はしだいに涼しさを感じるころとなりました。未だ新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らしに影響を与えています。一刻も早い終息を願いつつ、市の対策が効果的な取り組みとなるよう訴え続けてまいります。

今号では、8月、9月議会の状況、令和元年度の決算状況とともに、

枚方の一人ひとりを笑顔にしたい！～ひらかたばんしょう万笑！～の視点での私の質問をまとめました。

今回も、紙面の都合で簡単なお報告となっております。より詳しいご報告は、公式ホームページやブログに掲載しております。また、ご意見・ご要望は、ご遠慮なく電話やメールにてお寄せ下さい。

I. 8月緊急議会（補正予算）のご報告（8/6）

コロナ支援策 第6弾 主な内容（8/6）

- **コロナ対策実施店舗応援事業**：「感染症防止宣言」を行う店舗で使用できるクーポン券を市民一人あたり3,000円分発行する：約15.6億円
- **地域外来・検査センター運営事業**：新型コロナウイルス感染症の第2波に備え、地域の医療機関が感染症の受診調整を行う「地域外来・検査センター」の設置委託：約2.4億円
- **保育料等臨時休所（園）対策事業**：新型コロナウイルス感染症防止のため自宅保育を行った保護者に対し、4～6月分の保育料の還付：約1.2億円
- **図書消毒機の購入**：中央図書館および分室の図書消毒機の購入費（10台分）：約660万円
- **臨時的な給食提供の検証**：臨時的に小中学校の給食を10日間無償提供：約9.700万円



一般会計補正予算

歳入歳出補正額：約22.9億円増額
補正後の総額：約1,985億円



ばんしょうの質疑の視点

事業者・働くものへ届く支援策を！

コロナ対策実施店舗応援事業では、金融機関の職員さんが、直接店舗に出向いて感染症対策支援を行うとのことですから、この機会を逃さず、現場のニーズの把握に努め、**事業活性化支援**、また**安全で安心な職場環境の構築支援**など、**事業者・働くものへ確実に届く支援策を講じるべき**。

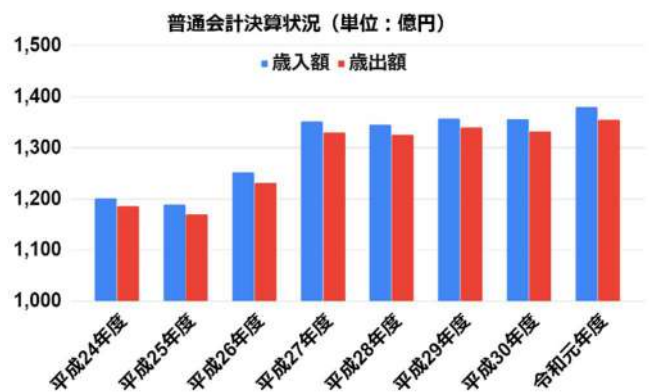
市答弁 今回の事業終了後も、実行委員会を構成する枚方市、北大阪商工会議所、枚方信用金庫の連携により、市内事業者への支援施策について、検討していきたい。

II. 令和元年決算の概要（決算特別委員会）

令和元年度普通会計決算状況 実質収支で約16.6億円の黒字を確保

枚方市の令和元年度の普通会計決算は、**歳入額約1,380億円**（24億円増）、**歳出額約1,355億円**（22億円増）、**実質収支約16.6億円**（0.7億円増）でした。昨年度と比べ、歳入歳出ともに増加していますが、収支としては、コントロールされているように見受けられます。しかし、今年度の令和2年度は、特別定額給付金などのコロナ対策関連経費で、既に2,000億円を超えており、大きく膨らんでいます。

9月議会では、決算特別委員会委員を務めます。決算特別委員会では、私たちの税が効果的・効率的に使われているのか、指摘とともに提案をしていきたいと思っております。



Ⅲ. 9月定例会議会（補正予算）のご報告（9/18時点）

コロナ支援策第7弾含む主な内容（9/7）

- 枚方市駅周辺地区再開発事業補助金：約 6.7 億円
- ひらかたポイントのアプリ化のためのシステム経費：約 1,500 万円
- 森林環境保全事業経費：100 万円
- 留守家庭児童会室保育料の還付：コロナ感染拡大に伴う登園自粛期間の保育料減額：約 6,800 万円
- 学校施設整備経費：樟葉小学校長寿命化工事延期（学校の夏休み期間短縮による）：▲1.5 億円
- 議会会議システム経費：市議会関係会議のペーパーレス化に向けたタブレット端末の導入経費：約 530 万円

【歳入】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金：約 10.1 億円

予算総額は、2,000 億円超え！

歳入歳出補正額：約 20.1 億円増額
補正後の総額：約 2,005 億円

ばんしょうの質疑の視点



早期に効果的な森林整備を！

森林環境保全事業経費として 100 万円が計上されている。森林環境譲与税を活用して実施される事業とのことだがどのように使われるのか？東部には、鳥獣対策含め、市民生活に大きく関わる課題となっている地区がある。スピードを上げて、効果的な森林整備を行うべき。

市答弁 本事業では、調査・検討を行い、本市の森林整備方針を策定することで優先的に整備が必要な地域を明確にする。

Ⅳ. 9月定例会議会【一般質問】のご報告（9/16）

皆さまの声を市政に反映させます ~ひらかた万笑！ 目指して質問



学校教育での ICT 活用は、「誰ひとり取り残さない」の一心で推進を！

小中学生への 1 人 1 台のタブレット配付が始まっている。「誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現」に向けて取り組んでいると聞いているが、障がいのある児童生徒や配慮を要する児童生徒に対する支援状況は？

市答弁 すべての児童、生徒が ICT 機器の活用ができるよう、視線入力装置を導入するなど、必要な機器等の整備を進めている。

被災者の避難情報、被災情報のデータ化で、一人ひとりに必要な情報提供・支援を！

市民が分散避難を含めて、どのように避難されているか、どのように被災しているかをデジタル化することで、今後は一人ひとりの被災者にとって必要な情報、必要な支援を届けられるようシステム構築していくべき。

市答弁 避難所の過密状況を把握し、広く市民に周知する観点からも、災害情報システムは必要不可欠なものであり、今後も継続して機能改善を図る。

「不登校」になっても、本人や保護者が傷つかずに、子どもの今を支える支援体制の強化を！

障がい・福祉サービスの手続きこそ、電子申請を含めた手段の選択肢を拡大すべき！

障害福祉サービスの更新申請を行う際の郵送代が自己負担となっているのは事実か？電子申請に向けての取り組み含め早急な対応を求める。

市答弁 返送される場合の郵送代については、ご自身にご負担いただいております。電子申請は、ご負担も少なく、利便性も高い場合が多いと考えており、対応可能な業務から検討していく。

市は自ら定めた「障害者就労施設からの優先調達方針」を再確認すべき！

障害者就労施設で就労する障害者や在宅で就業する障害者の経済面の自立を進めるための法律「障害者優先調達推進法」や、枚方市の優先調達方針の役所内での認識が甘い。庁内で実績を向上させていくべきと考える。

市答弁 本市では、優先調達方針を策定して以降、各部署への周知に努めてきたが、ここ数年は、調達実績が伸び悩んでいる。今後、更なる周知を行い、優先調達の推進に取り組んでいく。

SDGs の意義の共有で行政改革を！ 市民とともにゴールを目指せ！



皆様のご意見・ご要望・ご提案を
お聞かせ下さい

ばんしょう

検索

公式
ホームページ

Blog

